



子ども語り手養成講座

福島県 田村市図書館

基本データ

所在地	福島県田村市船引町船引 字扇田 19
職員数	5人
うち司書数	2人
蔵書数	約 93,000 冊
利用登録者数	約 8,300 人
年間貸出冊数	約 41,000 冊
(児童用図書貸出数 約 19,000 冊)	

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 子どもたちに、田村地域の伝承や昔話をその語り部から直接教わり、地域文化への親しみと誇りを養い、郷土の伝承を伝える若い語り手を育成する。
- 地域に伝わる昔話を語る体験を通して、物語の楽しさを知るとともに、方言や伝承をする大切さなどを学ぶ。

取組・活動の概要

- 田村地域に伝わる伝承を子ども達に語り継いで行く取り組みとして、こども語り手養成講座を開講している。
- 小学3年生から中学生までの5名を対象に、7月から10月にかけて年4回の講座を実施し地域の文化祭で発表する。

【第1回】

- 伝承の昔話を聞いてみよう(聞いた昔話の中から、子どもがやりたい演目を決める。)

【第2回】

- 語り手のおはなしを知ろう(それぞれの語り部から昔話を聞き、書き取る。)

【第3回】

- 昔話を語ろう①(原稿を見ながら語りの練習をする)

【第4回】

- 昔話を語ろう②(原稿なしで練習)

【文化祭での発表】

- 公民館ロビーの特設会場(50名程度)の前で、昔話の語りを実演、発表する。

取組・活動の工夫や特徴

- 子どもたちのやる気を継続するために、発声練習や方言クイズを行った。また、他の子どもたちの関心を引くため、発表会のチラシを子どもたちの学校へ配布した。
- 民話の会などのボランティアの協力が前提となっている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 昔話を語った子どもの感想として、「聞いてくれた人に褒められてうれしかった。」などの声があった。校長先生や担任の先生も聞きに来てくれたほか、その子どものために発表の場を設けてくれた学校があった。
- 今後も継続して実施していきたい。